

## 令和3年度 第1回福岡県アレルギー疾患医療連絡協議会

## 3. 話題提供

西間 三馨

## 1) 都道府県アレルギー疾患医療拠点病院の

## 機能評価指標に関する研究

(2021.7.8. Zoom によるオンライン会議)

「都道府県アレルギー疾患医療拠点病院の機能評価指標に関する研究」研究班会議  
議事録

## 出席者：

研究代表者	海老澤 元宏	中心拠点病院	国立病院機構相模原病院
研究分担者	大矢 幸弘	中心拠点病院	国立成育医療研究センター
	櫻井 大樹	拠点病院(耳)	山梨大学
	永田 真	拠点病院(内)	埼玉医科大学
	福富 友馬	拠点病院(内)	国立病院機構相模原病院
	宮崎 大	拠点病院(眼)	鳥取大学
	矢上 晶子	拠点病院(皮)	藤田医科大学
研究協力者	松本 吉郎	日本医師会	日本医師会常任理事
	服部 佳苗	患者会	NPO 法人ピアサポート F.A.cafe
	金子 雅信	行政	東京都福祉保健局健康安全部
	貝沼 圭吾	開業医	貝沼内科小児科
	佐藤 さくら	中心拠点病院	国立病院機構相模原病院
	柳田 紀之	中心拠点病院	国立病院機構相模原病院
	関谷 潔史	中心拠点病院	国立病院機構相模原病院
	上出 庸介	中心拠点病院	国立病院機構相模原病院
顧問	西間 三馨		国立病院機構福岡病院
オブザーバー	伊藤 靖典		長野県立こども病院
厚労省	桑原 優		厚生労働省健康局 がん・疾病対策課
事務局	杉崎 千鶴子		国立病院機構相模原病院

## 欠席者：

研究協力者	上出 庸介	中心拠点病院	国立病院機構相模原病院
-------	-------	--------	-------------

議題：

1. 挨拶およびメンバー紹介を行った。

2. 検討事項

1) 調査の概要と大項目の確認

- ・ 拠点病院を客観的に評価できる指標を目指す。
- ・ 拠点病院の役割として難治症例・重症例の受け入れ状況を評価することが重要である。
- ・ 診療している患者数だけでなく、地域への質的な貢献も計れる調査であることが望ましい。
- ・ データ取得に際して COVID-19 の影響を鑑み調査対象期間等配慮すべきである。
- ・ 患者数を評価する際に、人口当たりで評価した方が良いのでは？
- ・ 大項目について確認を行い、「6. 医療にかかる安全管理」は削除し、「行政との連携」に変更。

2) 調査項目の詳細について

1. 診療体制

(1) 診療機能

- ・ 「①アレルギー疾患医療提供体制及び標準的治療等の提供」は客観的に評価するのは難しいため、提供の有無を回答いただくだけで良い。イ、ウ、オは削除。
- ・ 「②地域連携の推進体制」に要点を置いた設問とする。
- ・ 実際には「2. 診療実績①治療実績」の紹介患者数で代用し、評価する。
- ・ アレルギー疾患は複数合併していることが多いためレセプト病名で患者数を拾うと重複があり診療実態と離れる。主病名や主たる診療科から推察することができないか。
- ・ 「②地域連携の推進体制 エ」は大項目6「行政との連携」に移行。

(2) 診療従事者

- ・ 常勤の定義は医療機関により就業規則が異なるため、「週 32 時間以上」のように縛らず「週 4 日程度勤務」とし各施設に判断を任せの方が良い。
- ・ アレルギー専門医だからといってアレルギー疾患を診ていない場合もある。逆にアレルギー専門医でなくてもアレルギー疾患を診ている。
- ・ 「①専門的な知識及び技能を有する医師の配置」では、アレルギー学会員の数を問う。眼科は日本眼科アレルギー学会員の数を問う。また耳鼻咽喉科、皮膚

科、眼科は各基本領域の専門医数を問う。さらに追加して各領域のアレルギー関連の所属学会員数を確認する。(後日メールで耳鼻咽喉科は「日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会」「日本鼻科学会」、皮膚科は「日本皮膚免疫アレルギー学会」と回答を頂いた。)

- ・ 「②専門的な知識及び技能を有する医師以外の診療従事者の配置」では具体的な基準を示さないと数値にばらつきがでる。以前厚労省で行った調査では所属している従事者の全員の数が計上されたこともある。→ア.イ.ウ.を削除し、専門資格に限定した設問とする。
- ・ PAE、CAI に加えて食物アレルギー管理栄養士(日本栄養士会認定。実状は学校向け)と皮膚疾患ケア看護師(日本皮膚科学会認定)を挙げる。

### (3)医療施設

- ・ 「2.診療実績②検査実績」と合わせて検査体制の有無を問う。

#### 2.診療実績

- ・ 具体的な数値を回答してもらう。
- ・ ①治療実績に「アレルギー疾患の入院患者数」の項目が欠落していたので追加する。
- ・ 経口免疫療法、エピペンの処方数を追加。
- ・ 耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科の治療実績に関しては、ご担当の先生方から会議後具体的な療法名を提出いただく。
- ・ 検査実績の項目として「シ.鼻アレルギー誘発試験」はほとんど実施されていないため削除する。「ス.点眼誘発試験」の代わりに「涙液 IgE 抗体検査」を追加。

#### 3.研修の実施体制(人材育成)

- ・ 研修受け入れ人数、医師向け・栄養士向けなどの研修の実施回数など具体的な数値を問う。
- ・ 周辺の医療機関への研修を含み、拠点病院として勉強の機会を提供しているか確認する。

#### 4.情報提供体制

- ・ ア.については、患者としては各個別の拠点病院が開催できれば理想だが、個別や地域開催が難しい場合にはWEB上で全国的なものでも可能である。
- ・ イ.オ.は大項目6「行政との連携」に移行。

#### 5.臨床研究および調査研究

- ・ イ.厚生労働科学研究の足立班が疫学調査を行っている。この調査を受け入れ可能かどうか指標となる。
- ・ 治験の受け入れ数と倫理委員会の承認を得たアレルギー疾患に関する臨床研究の数を問う。

## 6.行政との連携

- ・ 移動してきた3項目と災害時の対策について問う。(設問例：都道府県と協力し、災害等に対する対策を準備しているか)

## 3. 今後のスケジュール、事務連絡 等

- ・ 本研究班としてのスケジュールは、評価指標の案を作成し10月頃に全国の拠点病院を対象に調査を実施予定である。
- ・ 本日の議論を踏まえて調査票を修正し、9月に次回会議を開催予定。

配布資料：

- 1) 調査票案
- 2) 拠点病院評価指標項目検討用

以上

議事録作成：佐藤・杉崎

## 2) 第2回災害対策合同委員会

2021.7.19 於 日本アレルギー学会

### 「災害対策合同委員会」組織

#### 【担当理事】

- ・ 日本アレルギー学会 理事  
三浦克志 先生 (宮城県立こども病院アレルギー科)

#### 【委員長】

- ・ 日本アレルギー学会  
足立雄一 先生 (富山大学医学部小児科)

#### 【委員】

- ・ 日本アレルギー学会

正木克宜 先生（慶応義塾大学病院呼吸器内科）

・日本アレルギー学会 理事

三浦克志 先生（宮城県立こども病院アレルギー科）

・日本小児臨床アレルギー学会

成田雅美 先生（杏林大学医学部小児科学教室）

吉田之範 先生（大阪はびきの医療センター小児科）

・日本アレルギー協会

太田健 先生（結核予防会複十字病院）

西間三馨 先生（国立病院機構福岡病院）

【オブザーバー】

藤澤隆夫 先生（国立病院機構三重病院）

厚労科研

大規模災害時におけるアレルギー疾患患者の問題の把握とその解決に向けた研究

大規模災害時におけるアレルギー疾患患者への対応

「日本アレルギー学会における窓口一本化」

3) アレルギー疾患対策推進協議会

2021.7.29 於 東京

\* 資料は当日配布予定

# 第14回アレルギー疾患対策推進協議会 議事次第

日時：令和3年7月29日（木） 16:00～19:00

場所：オンライン開催（事務局：AP虎ノ門 11C・D）

## 議事次第

- 1 開会
- 2 アレルギー疾患対策の概要とアレルギー疾患対策基本指針の見直しについて
- 3 アレルギー疾患対策基本指針の概要と国におけるこれまでの主な取組状況
- 4 厚生労働省がん・疾病対策課におけるアレルギー疾患対策の主な取組
- 5 学校、保育所、児童施設等におけるアレルギー対応について
- 6 アレルゲンを含む食品の表示について
- 7 金属アレルギーについて
- 8 アレルギー疾患対策基本指針に係る議論

## 【資料】

議事次第

座席表

アレルギー疾患対策推進協議会委員名簿

- 資料1-1 アレルギー疾患対策の概要
- 資料1-2 アレルギー疾患対策基本指針の見直しについて
- 資料2 アレルギー疾患対策基本指針の概要と国におけるこれまでの主な取組状況
- 資料3 厚生労働省がん・疾病対策課におけるアレルギー疾患対策の主な取組
- 資料4-1 初等中等教育におけるアレルギー疾患対応の取組（文部科学省提供）
- 4-2 保育所におけるアレルギー疾患対応の取組（子ども家庭局保育課提供）
- 4-3 児童養護施設等におけるアレルギー疾患対応の取組（子ども家庭局家庭福祉課提供）
- 資料5-1 アレルゲンを含む食品に係る食品健康影響評価について（内閣府食品安全委員会事務局提供）
- 5-2 アレルゲンを含む食品の表示に関する取組（消費者庁提供）
- 資料6-1 歯科金属アレルギーと医科歯科連携（佐藤真奈美委員提供）
- 6-2 本邦における金属アレルギー診療の現状と課題（矢上晶子委員提供）
- 6-3 アレルギー疾患対策からみる金属アレルギー（参考人 西間三馨先生提供）

- 参考資料1 アレルギー疾患対策基本法
- 参考資料2 アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針
- 参考資料3 アレルギー疾患対策推進協議会令
- 参考資料4 アレルギー疾患対策推進協議会運営規程

## アレルギー疾患対策推進協議会委員名簿

(令和3年7月現在)

委員名	所属・役職
朝倉 敬子	東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野 准教授
浅野 浩一郎	東海大学医学部内科学系呼吸器内科学 教授
荒木田 美香子	川崎市立看護短期大学 教授
海老澤 元宏	独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター センター長
大矢 幸弘	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター アレルギーセンター長
岡本 美孝	独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院 病院長
加藤 則人	京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学 教授
上島 通浩	名古屋市立大学環境労働衛生学分野 教授
嵯峨山 文子	たつの市立龍野東中学校 教諭
佐藤 真奈美	公益社団法人日本歯科医師会 理事
下浦 佳之	公益社団法人日本栄養士会 専務理事
玉利 真由美	東京慈恵会医科大学医学部 教授
中澤 よう子	神奈川県 医務監
中西 和代	風讃社たまごクラブ編集部 統括部長
藤澤 隆夫	独立行政法人国立病院機構三重病院 名誉院長
前田 えり	NPO法人アレルギーの正しい理解をサポートするみんなの会 理事長
益子 美沙子	ながさき食物アレルギーの会ペンギン 代表
松本 吉郎	公益社団法人日本医師会 常任理事
宮崎 世志子	愛媛県松山市アレルギーっ子の会スマイルkids 代表
矢上 晶子	藤田医科大学医学部 教授